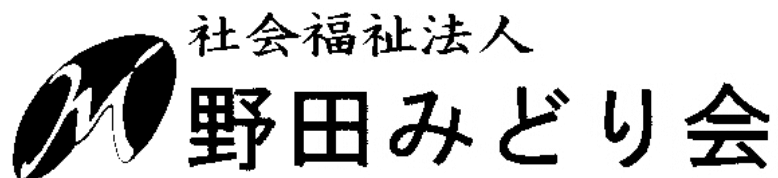


令和4年度

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)



報告書内容

総括

事業所別報告

- I 法人事務局
- II 鶴寿園事業部
- III 指定管理等事業部

事業所別利用明細表等

【法人理念】 すべての人を幸せに

野田みどり会は、ご利用者様、ご家族様、地域の皆様、職員などすべての人を幸せにすることを法人の使命として、最善のサービスを提供し、地域共生社会の実現に貢献します。

【法人基本方針】

- ・利用者様の目の高さでサービスを提供します。
- ・安全で質の高いサービスを提供します。
- ・サービス内容を利用者様と一緒に考えます。
- ・地域との連携を密にするよう努めます。
- ・職員どうしのコミュニケーションを良くし、いつも研修に努め活力ある法人にするよう努めます。
- ・安心して利用できるよう安定した経営を目指します

【総括】

事業運営につきましては、法人理念である「すべての人を幸せに」と基本方針に基づき取組を実施しました。

新型コロナウイルス感染症対策においては、ご利用者様や職員の感染が発生し、一部の事業所で休業や濃厚接触区域を設定して対応しましたが、感染予防対策を徹底した上で事業を継続してまいりました。

高齢者事業につきましては、専門部会を中心に介護技法のひとつである持ちあげない、抱えあげない介護「ノーリフティングケア」の実践・定着に取り組み、労働環境の改善やサービス向上に努めてまいりました。また、野田市東地域包括支援センターを4月から開所し、ご利用者様やご家族様が抱える相談ごとに対応してまいりました。

障がい者事業につきましては、居宅介護及び重度訪問介護サービスを開始し、ご利用者様のご要望等にお応えしてまいりました。また、日中サービス支援型グループホームの新規開設に向けた建設工事を計画どおり進めました。

収入面では、事業収益は特別養護老人ホーム鶴寿園ユニット型や鶴寿園訪問介護事業所等における利用人数増及び新型コロナウイルス感染症関連等の各種補助金収入により介護保険事業収益が前年度を上回る結果となりました。また、野田市地域包括支援センター事業開始による受託料収益の増加もあり法人全体のサービス活動収益は前年度を上回る結果となりました。

人件費につきましては、職員数に変動はないものの、介護職員処遇改善支援補助金等を活用した昇給等により増額となりました。

事業費につきましては、エネルギー資源の価格上昇に伴う燃料費調整額の高騰による電気、ガスの光熱費の増により増額となりました。

事務費につきましては、業務委託費が増額しましたが、前年度とほぼ同水準となりました。

この結果、今期の決算につきましては、事業活動計算書のサービス活動収益は前年比 5.7%増の 1,518,447 千円、サービス活動費用は前年 4.7%増の 1,438,170 千円、サービス活動増減差額は前年比 28.4%増の 80,277 千円となりました。

当期の業績

サービス活動収益	1,518,447 千円	前年比	5.7%増
サービス活動費用	1,438,170 千円	前年比	4.7%増
サービス活動増減差額	80,277 千円	前年比	28.4%増
経常増減差額	81,272 千円	前年比	30.0%増
当期活動増減差額	81,096 千円	前年比	36.9%増

※各事業拠点の状況は、後述します。

【事業所別報告】

I 法人事務局

1 取組内容

- ①各種業務の電子化推進の基礎となる業務内容の再構成を行い、二重業務の解消や業務効率を改善することができました。また、インターネットを介して利用するファイル保管場所であるクラウドストレージを導入し、法人内外問わず操作可能となったことで迅速に情報共有することができました。
- ②令和5年10月開設に向け、障がい者グループホームに係る建設工事手続や建設費借入等の関連業務を計画どおり進めることができました。
- ③新型コロナウイルス感染症関連助成金等の手続業務については、仕様変更にも対応した適正な手続業務を実施することができました。
- ④ホームページをリニューアルし、サービスや職員募集ページ内容を見直し、外部向け情報発信を充実させてまいりました。
- ⑤職員のキャリアアップ及び資格取得支援のため介護福祉士実務者研修を法人内で1回開催し、5人が介護福祉士実務者研修資格を取得。全員が介護福祉士国家試験に合格しました。
- ⑥新卒者採用活動では随時会社説明会や採用面接試験を実施し、会社説明会には12人、採用面接試験には7人が参加され、新卒者5人を採用しました。

2 理事会・評議員会

(1) 理事会 7回開催 場所：鶴奉第一自治会館

特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

開催日時	議案
令和4年5月10日(火) 午後2時から	評議員選任・解任委員の選任について 評議員会の招集について
出席者数 理事7人 監事2人	社会福祉法人野田みどり会共同生活援助事業整備事業建設設計・監理業務委託契約について 野田市心身障がい者福祉作業所運営規程の一部改正について

	野田市立あおい空運営規程の一部改正について 野田みどり会共同生活援助事業所運営規程の一部改正について
令和4年6月10日(金) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	令和3年度事業報告書について 令和3年度決算書について 令和4年度上期賞与支給総額の決定について 社会福祉充実残額について 理事長の職務の執行等について
令和4年9月2日(金) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	(仮称)鶴奉障害者グループホーム建設工事に係る独立行政法人 福祉医療機構からの建設費の借入について 育児・介護休業等に関する規則の制定に伴う関係規則の整備について 指定障害福祉事業(居宅介護・重度訪問介護)の指定申請について 鶴寿園訪問介護事業所運営規程(居宅介護・重度訪問介護)の制定について 令和4年度事業計画書の一部変更について 令和4年度資金収支予算の補正について(一次) 評議員会の招集について
令和4年10月26日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事1人	令和4年度上期事業報告について 社会福祉法人野田みどり会共同生活援助事業整備事業建築工事 請負契約の締結について 非常勤職員就業規則の一部改正について 令和4年度下期賞与総額の決定について 理事長職務の執行について
令和4年12月14日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事1人	特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)空調機器等改修工事 請負契約の締結について 令和4年度資金収支予算の補正について(二次) 評議員会の招集について
令和5年2月8日(水) 午後2時から 出席者数 理事6人 監事0人	(仮称)鶴奉障がい者グループホーム建設工事に係る独立行政法人 福祉医療機構との金銭消費貸借契約の締結について (仮称)鶴奉障がい者グループホーム外構工事請負契約の締結について 職員給与の昇給資金量について 評議員会の招集について
令和5年3月15日(水) 午後2時から 出席者数 理事7人 監事2人	職員給与規程の一部改正について 令和4年度資金収支予算の補正について(三次) 令和5年度事業計画書について 令和5年度資金収支予算書について 令和5年度指定管理者年度協定書の締結について 令和5年度業務委託等の契約締結について 特別職員の給与の決定について 理事長職務の執行について

(2) 評議員会 4 回開催 場所：鶴奉第一自治会館

特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）地域交流室

開催日時	議案
令和4年6月24日(金) 午後2時から 出席者数 評議員5人	令和3年度事業報告について 令和3年度決算書について 社会福祉充実残額について
令和4年9月13日(火) 午後2時から 出席者数 評議員6人	令和4年度事業計画書の一部変更について 令和4年度資金収支予算の補正について(一次)
令和4年12月21日(水) 午後2時から 出席者数 評議員8人	令和4年度資金収支予算の補正について(二次)
令和5年3月24日(金) 午後2時から 出席者数 評議員6人	令和4年度資金収支予算の補正について(三次) 令和5年度事業計画書について 令和5年度資金収支予算書について

3 監査等

内容	実施日時	対象事業所	結果(通知)
監事監査	令和4年5月27日(金) 午後2時から	全事業所	事業報告等監査結果 事業報告は、法令、定款に従い正しく示している。理事の職務執行に関する不正行為、法令定款に違反する重大な事実は認められません。 計算関係書類及び財産目録 法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

4 人事関係調書

採用者は、正規職員12人、嘱託職員及び非常勤職員13人、退職者は、正規職員12人、嘱託職員及び非常勤職員10人と採用者が上回ることとなりましたが、引き続き人材確保に苦慮している状況にあります。

新卒者の確保につきましては、昨年度は5人で、本年度も大学卒業者3人、専門学校卒業者2人の計5人（内2人は介護福祉士有資格者）を確保することができました。

(1) 在籍者

	職員数※4月1日		職員数※3月31日		平均勤続年数		平均年齢	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
正職員	153人	153人	153人	157人	10年7か月	9年11か月	40.7歳	39.8歳
非常勤職員	89人	94人	92人	88人	8年3か月	7年11か月	58.7歳	58.0歳
嘱託職員	7人	5人	7人	8人	12年7か月	11年1か月	61.9歳	58.0歳
特別職員	1人	1人	1人	1人	3年10か月	2年10か月	64.0歳	63.0歳
総計	250人	253人	253人	254人	9年9か月	9年3か月	48.0歳	48.0歳

(2) 採用者・退職者

	採用者		退職者		平均勤続年数(退職者)		離職率	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
正職員	12人	14人	12人	10人	2年2か月	8年7か月	7.8%	6.5%
非常勤職員	13人	4人	10人	10人	5年6か月	7年5か月	11.0%	11.0%
嘱託職員	0人	4人	0人	1人	-	7年9か月	0.0%	15.4%
特別職員	0人	0人	0人	0人	-	-	-	-
総計	25人	22人	22人	21人	3年10か月	7年9か月	8.7%	8.3%

II 鶴寿園事業部

1 特別養護老人ホーム鶴寿園（従来型）

(1) 取組内容

- ① トータルケアについて、多職種でのコミュニケーションを取り情報を共有できたことで、ご利用者様が希望する嗜好品の提供や感染対策を講じた上で看取り期のご利用者様とご家族様が過ごす場所と時間の設定、一斉介助からご利用者様一人一人の生活リズムに合った食事支援や排せつ支援など、多岐にわたるご利用者様からのご要望にお応えし、よりご利用者様に寄り添ったケアを提供することができました。また、6月にオムツに関する研修、8月に急変時対応研修、10月に褥瘡に関する研修、2月に感染症対応研修を実施し、介護技術の向上を図ることができました。
- ② 入居待機者を常時5人以上確保できず入居調整が遅くなり、新型コロナウイルスクラスター期中に生じた空床を解消できなかつたことで退居から入居までの期間が平均21.5日間となったことにより、平均利用者数51.8人、稼働率97.8%(前年99.8%)となりました。ショートステイの稼働については、入居移行に伴い生じた空床に対し居宅介護支援事業所へ空床連絡を主とする営業活動を行いました。空床を解消するまでのご利用者様増には到達しなかつたことと新型コロナウイルス感染に係る利用制限により目標値に達することができず、平均利用者数12.6人、稼働率79.0%(前年87.7%)となりました。
- ③ ノーリフトに関する研修を5月と6月に実施し、リフトやスライディングボードの活用が日常的にできるようになりました。職員の意識も変わり、ノーリフトケアに対する抵抗がなく、ご利用者様に合わせた介助の提案や機器の導

入を考え対応することができました。

- ④老朽化している施設設備(給湯やナースコール等)や使用していない箇所(旧厨房)を一体的に改修する大規模改修計画の策定は、翌年度に繰り越しとなりました。

(2) 利用実績

特別養護老人ホーム鶴寿園 (従来型)	特養(1日)	短期入所 (1日)
定員	54人	16人
令和4年度目標平均入居者数(1日)	53.0人	14人
令和4年度実績平均入居者数(1日)	51.8人	12.6人
達成率	97.8%	90.3%
令和3年度実績平均入居者数(1日)	52.9人	14人

サービス活動収益につきましては、前年比 1.1%増の 287,077 千円となりました。主な要因は、平均介護度の上昇 (0.3) による介護報酬収益の増と加算取得及び補助金収入によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 5.6%増の 276,297 千円となりました。主な要因は人件費と水道光熱費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、稼働が目標を大きく下回ったため△4,863 千円となりました。

2 特別養護老人ホーム鶴寿園 (ユニット型)

(1) 取組内容

- ①食事にに関して多職種で多角的に検討を行うミールラウンドを年間 21 回実施し誤嚥性肺炎による入院者を出さないよう努めましたが、前年度 0 人だった入院者が今年度は 2 人が誤嚥性肺炎で 32 日間入院することになりました。退院時に再度カンファレンスを行い再発予防に努めたことで、再発なく経過しています。
- ②要介護 5、要介護 4 で申し込みのあった方に関しては、入所検討員会を随時開催することで速やかに入居をご案内することができました。ショートステイ利用時から入居を見据えている方については入居時の費用等の説明を行い相談に乗ることで申込みいただき、入居をご案内することができました。令和 4 年度 21 人の新規入居者の内 10 の方がロングショート利用から入居されました。22 床の退所がありましたが、平均利用者数 88.4 人、稼働率 98.2% (前年 98.0%) と結果を残すことができました。ショートステイの稼働については、入居に移行する際に予定していた利用枠が空くことによることと、新型コロナウイルス感染に係る利用制限により目標値に達することができず、平均利用者数 8.2 人、稼働率 82.3% (前年 89.8%) となりました。
- ③ノーリフティングケアについて、ノーリフティングケア部会と協力し 3 台あったリフトの内、1 台は従来型で、1 台はユニット型で平常稼働することができました。残る 1 台はショートステイ鶴寿園(ユニット型)利用者の方が利

用する際に活用しています。車椅子とベッド間の抱え上げる介助方法について引き続き検討を行い、抱え上げる介助ゼロを目指します。

(2) 利用実績

特別養護老人ホーム鶴寿園（ユニット型）	特 養	ショート
定 員	90 人	10 人
令和 4 年度目標平均入居者数(1 日)	88.1 人	8.9 人
令和 4 年度実績平均入居者数(1 日)	88.4 人	8.2 人
達 成 率	100.3%	92.5%
令和 3 年度実績平均入居者数(1 日)	88.2 人	9.0 人

サービス活動収益につきましては、前年比 3.4%増の 526,915 千円となりました。主な要因は、平均介護度の上昇（0.2）による介護報酬収益の増と加算取得及び補助金収入によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 1.9%増の 462,152 千円となりました。主な要因は新型コロナウイルスクラスター対応による保健衛生費の増と水道光熱費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、29,479 千円となりました。

3 デイサービスセンター鶴寿園

(1) 取組内容

- ① ご利用者様とのコミュニケーションからの生まれる新たな情報の収集や行事や余暇を通じてご様子やご要望などを把握し、経過的に状況を振り返りながら、楽しんで参加いただける活動の実施へとつなげられるよう日々の個別介護記録の充実を図りました。
- ② フロア内の毎時換気やご利用者様の 1 日 2 回の健康管理といった新型コロナウイルス感染症への対策を継続して実施するとともに、室内行事に加えて少人数グループによる外出行事を開催できたことで、季節を感じるなど気分転換となる機会が増えました。
- ③ 居宅介護支援事業所への広報活動として、デイサービスをご利用されている皆様の要介護度、年齢、利用回数、過ごし方、余暇活動等を集約したパンフレットを定期的に更新し、延べ 26 件の事業所訪問により事業 PR や情報提供を行い、新規ご利用者様増につなげることができました。
- ④ 職員間の情報交換を活発し介護技術の向上へ向けた取組として、感染症知識や移乗介助などテーマ別の内部研修会を 5 回開催し、普段の感染対応策や介助方法を再確認できる機会となりました。

(2) 利用実績

デイサービスセンター鶴寿園	定 員	営業日数	平均利用者数(1 日)
令和 4 年度目標	30 人	365 日	22.0 人
令和 4 年度実績	30 人	365 日	19.1 人
達 成 率			86.9%
令和 3 年度実績	30 人	365 日	20.2 人

サービス活動収益につきましては、前年比 4.0%減の 66,710 千円となりました。主な要因は、新規ご利用者様の増加はみられたものの、週当たり複数回利用をされているご利用者様の取消と営業活動が不足したことに起因して延べ利用者数が減少し、登録中のご利用者様の週当たり利用回数の増加へとつなげられなかったことによるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 3.6%減の 60,005 千円となりました。主な要因は人件費及び事務費の減によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,385 千円となりました。

4 鶴寿園訪問介護事業所

(1) 取組内容

- ① サービス提供責任者の業務を 3 グループに分担し、訪問介護員への伝達や、ケアマネージャーへの報告等が速やかに行えたことにより、細やかなサービスや訪問介護計画書の作成ができました。
- ② 感染予防の観点から、職員会議及び研修については開催日を複数回設定し計画どおり実施しました。また、研修は全体研修に加え、個別研修にも取り組めるようインターネット配信形式の研修を実施しサービス質の向上に繋げることができました。
- ③ 基幹システムの活用により、リアルタイムにサービス提供状況を把握することで、職員及び関係機関との連携強化を図ることができました。

(2) 利用実績

鶴寿園訪問介護事業所	利用人数	営業日数	平均稼働時間(月)
令和 4 年度目標	96 人	365 日	770 時間
令和 4 年度実績	102 人	365 日	751.5 時間
達成率			97.5 %
令和 3 年度実績	92 人	365 日	713.3 時間

サービス活動収益につきましては、前年比 15.8%増の 44,332 千円となりました。主な要因は、訪問介護員の増員により新規受入れ体制と利用増回への調整が行えたことよって、稼働時間を上げることができました。また、10 月から障がいサービスを開始し、利用者数増につなげることができました。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 9.1%増の 38,228 千円となりました。主な要因は人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、2,359 千円となりました。

5 鶴寿園居宅介護支援事業所

(1) 取組内容

- ① 新型コロナウイルスの緊急事態宣言期間やまん延防止重点措置の適用がなくなったことで感染対策を講じながら定期訪問等が行えたことで昨年度よりご利用者様やご家族様、サービス事業所と対面でやり取りができたことで、モニタリングや生活状況等の情報を収集ができました。

- ②ご利用者様やご家族様の解決すべき課題や要望等が多岐にわたる中でも適切な介護サービスが滞ることなく適切かつ効果的に提供されるよう、サービス事業所等の情報共有を事業所会議で行いましたが、計画していたAIケアプランシステムを活用しての必要サービスの提案には至りませんでした。
- ③オンライン研修の形で、ZOOM を活用して必要な研修を受講することができました。また、下半期からノートパソコンを取り入れて事務処理の生産性向上ができる環境を整えました。
- ④各地域包括支援センターや医療機関からの依頼に対して極力断らないことを意識して新規依頼に対応し、年間 155 件の新規相談に対して、地域包括支援センターからは 104 件、医療機関からは 84 件、ご家族様からは 29 件の相談を受け、116 件の契約をした結果、契約者増となりました。契約終了者は 92 件と前年比 17 件増となりました。

(2) 利用実績

鶴寿園居宅介護支援事業所	営業日数	平均利用者数(1月)
令和4年度目標	258日	277人
令和4年度実績	258日	221人
達成率		79.8%
令和3年度実績	258日	203人

サービス活動収益につきましては、職員の休職や退職により予定人員(7.4人)の確保ができず、平均利用者数は目標達成に至りませんでした。前年比7.5%増の36,847千円となりました。主な要因は利用者数の増加による介護報酬収益の増によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比23.5%増の32,910千円となりました。主な要因は、人件費の増(前年比1.3人増)によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,436千円となりました。

6 野田市東地域包括支援センター

(1) 取組内容

- ①民生委員の定例会に参加し広報活動を行うことで、顔の見える関係づくりに取り組みました。また、基幹型地域包括支援センター・民生委員・病院関係・警察生活安全課・介護支援専門員等と当センターが中核となり情報共有等の連携を行うことで地域のネットワークの構築を図りました。相談窓口として、相談件数が上期801件に対して、下期893件でプラス92件開設当初より東地域包括センターとしての窓口の認知度が上昇しました。令和5年度も引き続き東地区の相談窓口として定着できるように、自治会や地域の活動に参加し広報活動を行います。
- ②地域ケア個別会議を3回開催し、多職種が参加し事例検討を行いました。地域ケア地区別会議を1回開催し、多職種と地域住民・民生委員等が参加し地域課題の情報収集と顔の見える関係づくりを行いました。
 - ・地域ケア個別会議(R4.6.28)従来型地域交流室11人参加

- ・地域ケア個別会議（R4. 9. 29）従来型地域交流室 12 人参加
- ・地域ケア地区別会議（R4. 11. 29）鶴奉第 1 自自会館 20 人参加

地域課題に対して、今後どのように取り組んでいくかが課題となりました。令和 5 年度も各職種連携を取りながら地域との繋がりを継続してまいります。

認知症サポーター養成講座を 3 回開催し、161 人の認知症サポーター養成を行いました。（R4. 7. 14 柳沢小学校 6 年生 50 人、R4. 10. 4 宮崎小学校 6 年生 74 人、R4. 11. 9 東部小学校 6 年生 37 人）

- ③野田市地域包括支援センター連絡会に毎月参加し、他包括の活動内容や対応方法について学び、当包括の対応方法についての振り返りや担当地区で必要とされる資源等についても検討することができました。

各職種や業務分担に応じた専門的な研修に参加し、知識・対応方法について学び業務に生かすことができました。業務分担については次年度も継続し更なるスキルの向上を目指します。

(2) 利用実績

野田市東地域包括支援センター	職員数	相談人数(月)	予防給付等利用者数(月)
令和 4 年度実績	3 人	141.2 人	156.5 人
令和 4 年度目標	3 人	200 人	158 人

サービス活動収益につきましては、20,000 千円となりました。

一方、サービス活動費用につきましては、17,927 千円となりました。

その結果、当期活動増減差額につきましては、550 千円となりました。

III 指定管理等事業部

1 複合老人ホーム野田市楽寿園(養護老人ホーム・特別養護老人ホーム)

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症について、8 月にご利用者様 6 人、職員 3 人が感染し、クラスターとなりました。ご利用者様 6 人全員が施設内で療養され、隔離等による適切な感染者対応を行ったことで感染が拡大することなく終息しましたが、10 月に再度ご利用者様 9 人、職員 6 人が感染し施設内にて療養しました。1 月には胃腸炎にてご利用者様 5 人が感染し、施設内にて療養しました。2 月に 1 人のご利用者様が新型コロナウイルス感染症に感染し施設内にて療養しました。
- ②講義を映像で視聴する形式のフォローアップ研修を介護職員全員が参加することで、介護技術と知識の向上が図れました。
- ③特別養護老人ホームの稼働率については、入院者の状況を病院と連携を取りながらこまめに確認し入院期間の短縮を図ることで、昨年度と比較して入院日数が 301 日減少し、1 日当たりの平均利用者が昨年度比で 0.8 人増加することができました。
- ④感染症対策のため、防犯パトロールや環境美化運動といった地域の活動はできませんでした。東部小・中学校や公民館のペットボトルキャップの回収活

動を行い、年間合計 132kg（約 56,760 個）分を回収しました。

(2) 利用実績

複合老人ホーム野田市楽寿園	特 養	養 護
定 員	29 人	41 人
令和 4 年度目標平均入居者数(1 日)	28.0 人	30.0 人
令和 4 年度実績平均入居者数(1 日)	27.8 人	27.7 人
達 成 率	99.2%	92.3%
令和 3 年度実績平均入居者数(1 日)	27.0 人	30.3 人

※ 養護の目標平均入居者数は予算定員

サービス活動収益につきましては、前年比 13.7%増の 232,806 千円となりました。主な要因は、特別養護老人ホームの稼働安定と、価格高騰に対する県、市からの給付金によるものです。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 6.4%増の 215,126 千円となりました。主な要因は、水道光熱費の高騰とナースコールの修繕、感染症対策費によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては 12,833 千円となりました。

2 野田市岩木小学校老人デイサービスセンター

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、外出行事や岩木小学校との交流、ボランティアの受入れは引き続き中止となりました。身体機能訓練と認知症予防の脳機能訓練については、実施状況を評価しながら実践しました。軽度利用者が多い中、楽しみながら参加できるよう、会議で内容を精査しご利用者様自ら参加し、達成感を感じられるプログラムを考え提供することができました。
- ②利用登録者数、送迎ルート管理、空き状況、利用状況等を職員間で共有するとともに、ご家族様や担当介護支援専門員への連絡がスムーズにできる体制を構築することで、職員及び関係機関等との連携強化を図ることができました。
- ③新型コロナウイルス感染症感染拡大により、対面での営業活動を一時中止することがありましたが、サービスの取組状況や空き状況などを織り込んだ広報誌を作成し、継続した営業活動を実施しました。

(2) 利用実績

野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	定 員	営業日数	平均利用者数(1 日)
令和 4 年度目標	25 人	310 日	19.5 人
令和 4 年度実績	25 人	300 日	17.8 人
達 成 率			91.1%
令和 3 年度実績	25 人	310 日	18.2 人

サービス活動収益につきましては、前年比 4.1%増の 42,272 千円となりました。主な要因は、7月下旬に発生した新型コロナウイルスクラスターの影響

で10日間の営業休止により介護保険収入は減となったものの、電気、ガス及び燃料の価格高騰に伴う指定管理料の増額分 836 千円があったため増となりました。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 0.1%減の 42,610 千円となりました。主な要因は、ガス・電気代などの水道光熱費が増大しましたが、非常勤職員採用が予定より下回り非常勤給与支出が減少になったことによります。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△1,195 千円となりました。

3 野田市心身障がい者福祉作業所

(1) 取組内容

- ①ご家族様との日々の連絡や情報交換によって、現状の解決すべき課題について他の社会資源と連携しながら虐待やグループホーム入居等の家庭での課題解決につなげました。
- ②自主生産品の販売会は新型コロナウイルスの影響で実施できませんでした。販路拡大を目標としましたが、協力販売店舗での販売数も減少傾向でした。現状を踏まえ下請作業の受注量を増加して対応したことで工賃支給額の増となりました。
- ③自主生産品の新たな需要を獲得するため、介護用品に係る新商品（尿バッグ用カバー、ベッド柵用カバー）の開発を行い、特別養護老人ホーム鶴寿園に販売しました。使用状況等おおむね好評を得たことから、今後は他法人への販売等を視野に営業を行ってまいります。

(2) 利用実績

野田市心身障がい者福祉作業所	生活介護事業所		就労支援B型事業所	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
定員	25人	25人	15人	15人
営業日数	244日(233日)	243日	244日	243日
目標平均利用者数(1日)	27.2人	26.9人	12.2人	12.4人
実績平均利用者数(1日)	25.7人	27.3人	11.4人	11.3人
達成率	94.3%	101.4%	93.3%	91.1%
(就労支援B型)		令和4年度		令和3年度
目標年間作業 収入年間	目標	1,356千円		1,080千円
	実績	1,437千円		902千円
	達成率	105.9%		83.5%
1人平均月額工賃	目標	6,000円以上		6,000円以上
	実績	5,956円		4,775円
	達成率	99.2%		79.5%

定員の125%利用可

サービス活動収益につきましては、前年比 0.9%減の 84,570 千円となりました。主な要因は、就労継続支援 B 型、生活介護ともに 8 月と 1 月の新型コロナウイルスクラスター発生により、罹患したご利用者様の欠席によるものです。生活介護につきましては、8 月のクラスター発生にともない野田市の指示により、8 月 8 日が休所となったため、営業日数は 243 日となりました。

サービス活動費用につきましては、前年比 4.9%減の 70,890 千円となりました。主要因は、就労継続支援 B 型の人員配置変更及び欠員により、人件費（8,000 千円減）、水道光熱費（1,380 千円増）によるものです。また、新規グループホーム整備資金として、拠点区分間繰入金費用 63,380 千円を計上しました。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△52,118 千円となりました。

4 野田みどり会共同生活援助事業所中根の家

(1) 取組内容

- ①新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度同様に令和 4 年度も自治会総会や地域の運動会等は中止となりました。日々のご挨拶や相談、コミュニケーションを大切にし、ご近所様との関わりをサポートしました。
- ②利用状況については、共同生活援助ご利用者様 2 人が今後を見据えて年度途中で退居となりました。ご利用者様に関わる各関係事業者へ中根の家の閉鎖についてご報告、ご説明を行うと共に話し合い、ご利用者様にとって良い選択は何か、アセスメントの更新によりニーズに沿って検討し、ご本人の意思決定に寄り添いました。通所先は福祉作業所であるため支援の連携は継続しています。2 月から空床型短期入所事業を稼働、年度内 1 件のご利用がありました。日中一時利用は、2 件が定期的なご利用となっています。
- ③ご利用者様と共に新型コロナウイルス感染症予防に努めました。今年度は通所先での陽性者確認と連動し、ご利用者様の感染を確認、ホームでの療養介護支援を行いました。重症化することなく元気に復帰され、食べたい物のリクエストを収集してイベント食として提供し喜ばれていました。

(2) 利用実績

障がい者グループホーム 中根の家	定員	共同生活援助	短期入所 (空床型)	日中一時支援
令和 4 年度目標	4 人	4 人	0 人	12,000 円/月
令和 4 年度実績	4 人	3.6 人	0.01 人	21,100 円/月
達成率		90.5%		175%
令和 3 年度実績	4 人	3.9 人	人	6,386 円/月

サービス活動収益につきましては、前年比 2.7%減の 12,673 千円となりました。主な要因は、ご利用者様 4 人中 2 人が 2 月と 3 月に退居(延べ 120 人減)となったことです。日中一時事業については、定期的な利用継続により利用増となりました(延べ 48 人増)。

サービス活動費用につきましては、前年比 5.5%減の 14,530 千円となりました。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△1,756 千円となりました。

5 野田市立あおい空

(1) 取組内容

- ①利用者支援に必要な研修として、摂食嚥下研修、相談支援、サービス管理責任者、虐待防止研修など外部研修のほか、施設内では機能訓練研修、学習会の機会を設け、適切な支援力を身に着けました。
- ②個別支援計画を作成し、個々の状態にあった支援をすることで、年度末実施した満足度調査では、満足度の高い評価をいただきました。
- ③日中一時、短期入所ともに希望に沿った利用で日程調整し、キャンセル待ちにも対応しました。

(2) 利用実績

野田市立あおい空	定員	営業日数	平均利用者数(1日)
令和4年度目標	20人	233日	18.9人
令和4年度実績	21人	233日	19人
達成率	100%		
令和3年度実績	20人	232日	18人
サービス		日中一時	短期入所
定員		6人	3人
営業日	令和4年度	278日	135日
	令和3年度	278日	135日
	増減	—	—
サービス		日中一時	短期入所
利用者延人数	令和4年度	1160人	331人
	令和3年度	1041人	311人
	前年比	111%増	7%増
1日当り平均人数	令和4年度	4.1人	2.4人
	令和3年度	3.7人	2.3人
	前年比	10%増	5%増

サービス活動収益につきましては、前年 2.0%増の 157,750 千円となりました。要因としては処遇改善費増と、光熱費高騰による水道光熱費増による指定管理料の増額が主となっています。

一方、サービス活動費用につきましては、前年比 1.1%増の 142,223 千円となりました。主な要因は人件費 490 千円増、事業費 796 千円増、事務費 240 千円増によるものです。また、新規グループホーム整備資金として、拠点区分間繰入金費用 45,000 千円を計上しました。

その結果、当期活動増減差額につきましては、△35,354 千円となりました。

6 野田みどり会相談支援事業所

(1) 取組内容

- ①法人内の障がい事業所（福祉作業所・あおい空・中根の家）のご利用者様については、当事業所に契約変更していただいた件数が50%に到達しました（R5.3.31現在）。
- ②法人外の障害者の利用希望については、就労等の訓練等給付や居宅介護等の介護給付についての相談、病院の長期入院患者の地域生活移行等、幅広く対応したことで、各関係機関との連携が築け、新たな相談依頼にもつながりました。

(2) 利用実績

野田みどり会相談支援事業所	計画作成	継続支援
令和4年度目標	94人	348人
令和4年度実績	116人	348人
達成率	123.4%	100.0%
令和3年度実績	69人	118人

サービス活動収益につきましては、前年比135.4%増の6,451千円となりました。要因は利用者数の増によるものです。

サービス活動費用につきましては、前年比33.4%増の4,459千円となりました。主な要因は人件費の増によるものです。

その結果、当期活動増減差額につきましては、1,180千円となりました。

令和4年度 事業所別利用明細表

事業名	年	営業 日数	定員(人) ※1	利用者 延人数	利用率 (%)	1日当たり平均人数 ※2			
						目標(人)	実績(人)	達成率(%)	
特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	今年度	365	54	18,922	96.0%	53.0	51.8	97.7%	
	前年度	365	54	19,313	98.0%	53.0	52.9	99.8%	
ショートステイ鶴寿園(従来型)	今年度	365	16	4,614	79.0%	14.0	12.6	90.0%	
	前年度	365	16	5,119	87.7%	14.0	14.0	100.0%	
特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	今年度	365	90	32,260	98.2%	88.1	88.4	100.3%	
	前年度	365	90	32,208	98.0%	88.0	88.2	100.2%	
ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	今年度	365	10	3,005	82.3%	8.9	8.2	92.1%	
	前年度	365	10	3,276	89.8%	8.8	9.0	102.3%	
デイサービスセンター鶴寿園	今年度	365	30	6,978	63.7%	22.0	19.1	86.8%	
	前年度	365	30	7,391	67.5%	22.0	20.2	91.8%	
鶴寿園訪問介護事業所	今年度	365	120	9,048		770.0	751.5	97.6%	
	前年度	365	120	8,560		800.0	713.3	89.2%	
鶴寿園居宅介護支援事業所	今年度	258	318	2,654	73.2%	277.0	221.0	79.8%	
	前年度	258	237	2,314	91.8%	210.0	203.0	96.7%	
野田市東地域包括支援センター	今年度	247		1,694		200.0	141.2	70.6%	
	前年度								
養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	365	41	10,099	67.5%	30.0	27.7	92.3%	
	前年度	365	41	11,065	73.9%	30.0	30.3	101.0%	
特別養護老人ホーム野田市楽寿園	今年度	365	29	10,136	95.8%	28.0	27.8	99.3%	
	前年度	365	29	9,857	93.1%	28.0	27.0	96.4%	
野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	今年度	300	25	5,329	71.1%	19.5	17.8	91.3%	
	前年度	310	25	5,637	72.7%	19.2	18.2	94.8%	
野田市心身障がい者福祉作業所	今年度	就労継続支援B型		15(16)	2,778	71.2%	12.2	11.4	93.4%
		生活介護	244	25(31)	6,233	82.4%	27.2	25.7	94.5%
		合 計		40(47)	9,011	78.6%	39.4	36.9	93.7%
	前年度	就労継続支援B型	243	15(16)	2,878	74.0%	12.4	11.8	95.5%
		生活介護		25(31)	6,610	87.7%	26.9	27.2	101.1%
		合 計		40(47)	9,488	83.1%	39.3	39.0	99.4%
野田みどり会共同生活援助事業所中根の家	今年度	長期入所	365	4	1,322	90.5%	4.0	3.6	90.0%
		前年度	365	4	1,439	98.6%	4.0	3.9	97.5%
	日中一時	今年度	359	3	70	6.5%	1.0	0.2	20.0%
		前年度	359	3	22	2.0%	1.0	0.1	10.0%
	短期入所	今年度	365	2	3	0.0%	0.0	0.0	0.0%
		前年度	365	空床型	0		0.0	0.0	0.0%
野田市立あおい空	今年度	生活介護	233	21	4,449	90.9%	18.9	19.0	100.0%
		前年度	232	20	4,197	90.2%	18.0	18.1	90.0%
	日中一時	今年度	278	6	1,161	69.6%		4.1	
		前年度	278	6	1,041	63.2%		3.4	
	短期入所	今年度	135	3	331	81.7%		2.4	
		前年度	135	3	311	74.3%		2.6	
野田みどり会相談支援事業所	今年度	計画作成	252	-	116		※4 7.8	9.6	123.1%
		前年度	192	-	69		7.5	7.7	102.7%
	モニタリング	今年度	252	-	348		※4 29.0	29.0	100.0%
		前年度	192	-	118		24.5	13.1	53.5%

※1 野田市心身障がい者福祉作業所の定員()内は実人数

※2 1日当たり平均人数 訪問介護事業所のみ時間単位で表示

※3 平均介護度の()は障害程度区分を記載

※4 相談支援事業所目標値は、1か月当たり人数

※5 相談支援事業所単価は、1件あたりの金額

※6 相談支援事業所数値は、全登録者からの値

令和5年3月31日現在

利用者 1人1日 当たり単価	平均 介護度 ※3	平均年齢			入退所(人)		入院者	
		男	女	計	入所数	退所数	人数	延日数
12,406	3.80	81.2	87.1	85.9	26	26	8	228
11,725	3.50	81.9	87.2	86.2	9	9	9	336
11,341	3.00	76.3	83.0	81.0				
11,218	3.40	79.4	84.5	83.4				
14,897	3.70	84.9	89.1	88.4	21	22	19	306
14,288	3.50	84.4	89.1	88.5	31	30	10	280
15,425	3.30	84.8	89.5	88.6				
15,013	3.40	81.7	88.7	87.0				
9,560	1.90	83.3	86.7	85.6	48	31		
9,397	2.10	82.0	86.8	85.4	20	35		
4,793	1.30	81.4	84.4	83.0	66	49		
4,471	1.28	81.9	84.6	83.4	48	40		
14,371	1.65	79.6	85.0	83.0	116	92		
14,818	1.87	80.6	85.3	83.5	90	75		
10,764		81.5	84.9	83.5	7	7	28	381
8,404		81.6	85.2	83.6	3	8	9	466
12,325	3.41	83.3	87.7	86.0	7	6	23	294
11,299	3.50	82.7	87.2	85.4	10	11	13	595
8,106	1.28	86.2	88.3	87.3	9	12		
7,302	1.20	85.3	87.6	86.5	12	14		
6,488	(3.7)	52.1	39.8	46.0	0	0		
8,952	(4.87)	35.8	37.9	36.9	0	0		
15,440	(4.2)	44.0	38.9	41.4	0	0		
7,113	(3.7)	51.0	40.6	45.8	0	0		
8,584	(4.7)	34.1	35.3	34.7	0	0		
15,697	(4.2)	42.6	38.0	40.3	0	0		
6,704	4.25		46.0	46.0	0	2		
6,209	(4)		45.5	45.5	4	0		
2,845	5.6	44.0	28.5	39.8				
1,860	(4)	46.0	31.0	41.0				
17,529	5		30.0	30.0				
0	0		0.0	0.0				
	(6)	30.8	29.7	30.2	1	1		
	(6)	31.7	27.8	29.7	1	0		
		28.6	27.4	28.0				
		29.1	32.0	30.5				
		31.1	30.1	30.6				
		24.2	31.1	27.6				
※5 17,332	※6 (3.9)	※6 42.5	※6 39.7	※6 41.7				
17,332	(4.1)	41.7	37.6	39.9				
※5 13,571	※6 (3.9)	※6 42.5	※6 39.7	※6 41.7				
13,571	(4.1)	41.7	37.6	39.9				

令和4年度事故等発生状況（年間）

事業所名		ヒヤリ/ハット			今年度
		今年度	前年度	増減	
1	特別養護老人ホーム鶴寿園(従来型)	144	173	△ 29	207
2	ショートステイ鶴寿園(従来型)	78	85	△ 7	131
3	特別養護老人ホーム鶴寿園(ユニット型)	506	905	△ 399	317
4	ショートステイ鶴寿園(ユニット型)	47	43	4	17
5	デイサービスセンター鶴寿園	37	85	△ 48	24
6	鶴寿園訪問介護事業所	50	54	△ 4	7
7	鶴寿園居宅介護支援事業所	0	0	0	0
8	野田市東地域包括支援センター	0	0	0	0
9	複合老人ホーム野田市楽寿園(養護)	14	30	△ 16	13
10	複合老人ホーム野田市楽寿園(特養)	137	84	53	124
11	野田市岩木小学校老人デイサービスセンター	65	95	△ 30	3
12	野田市心身障がい者福祉作業所	39	81	△ 42	9
13	野田みどり会共同生活援助事業所中根の家	3	1	2	3
14	野田市立あおい空	40	47	△ 7	13
15	野田みどり会相談支援事業所	0	0	0	0
計		1,160	1,683	△ 523	868

おもな事例

ヒヤリ/ハット

(高齢)

- ・ベッドから転落しそうになる。
- ・ソファからずり落ちしそうになる。
- ・歩行時にバランスを崩し転倒しそうになる。
- ・車両降車時に階段を踏み外しそうになる。
- ・ベッドから降りようとする。
- ・居室内家具に躓き転倒しそうになる。
- ・他ご利用者様が乗車している車椅子を押そうとする。
- ・パーテーションが倒れご利用者様に接触しそうになる。
- ・食後に服薬していないことに気づく。
- ・椅子から立ち上がろうとする。
- ・ベッド柵を外そうとする。
- ・ベッド上で四つん這いになる。

(障がい)

- ・歩行時ふらつきそうになる。
- ・胸、腰ベルトの装着忘れ
- ・点眼薬指し忘れ
- ・備品を口に入れようとする。
- ・リフトネットの紐が外れそうになる。

(件)

事 故		県・市(事故報告書)			苦 情		
前年度	増減	今年度	前年度	増減	今年度	前年度	増減
283	△ 76	3	3	0	0	0	0
51	80	3	1	2	0	0	0
349	△ 32	17	20	△ 3	0	0	0
12	5	2	2	0	0	0	0
35	△ 11	0	0	0	0	0	0
15	△ 8	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
-	0	0	-	0	0	-	0
53	△ 40	1	0	1	0	0	0
93	31	2	0	2	0	0	0
1	2	0	1	△ 1	0	0	0
9	0	0	1	△ 1	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0
26	△ 13	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0
930	△ 62	28	28	0	0	0	0

※苦情解決運営規程に基づき報告された
件数

事 故
(高齢) ・椅子に足が絡まるように転倒する。 ・ベッド(ソファ)からの転落。 ・浴室で足を滑らせ転倒する。 ・ベッド脇にしりもちをつく。 ・車いすからずり落ちる。 (障がい) ・誘導時足がもつれて転倒する。 ・車いすから立ち上がった際、バランスを崩し転倒する。
県・市(事故報告書)
(高齢) ・転倒による第10胸椎圧迫骨折 ・転倒による腰椎第11, 12骨折 ・転倒による右大腿骨頸部骨折 ・転落による左大腿骨転子部骨折 ・転落による頭部裂傷 (障がい) ・転倒による鼻骨骨折